COVID-19検査を受けた方への説明

陽性だった場合
➡ 保健所の介入指導

陰性だった場合
➡ 保健所の未介入
自宅療養管理指導

症状出現～ **10日目**

発熱/咳などの主症状消失～ **3日目** 解熱剤を使用せずに

＿＿＿月＿＿＿日 まで

嗅覚障害、息切れ、発熱や咳が継続、再燃するなどCOVID-19がさらに強く疑われる場合には、PCR検査の再検査や他の疾患や合併症がないかの精査を行うことも考慮します。その際には、当院もしくは発熱等指定医療機関に事前に電話連絡願います。

注 意

COVID-19検査結果が**陰性**であっても風邪症状がある場合には**可能性は否定できません**。**上記期間は周囲（職場や家族）への感染拡大予防のため自宅療養をお願いします**。

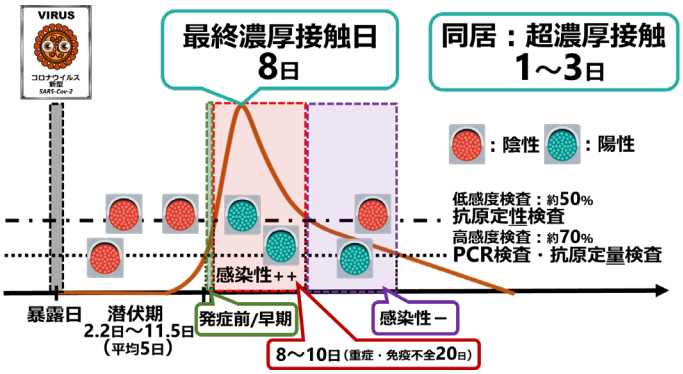
濃厚接触者の場合

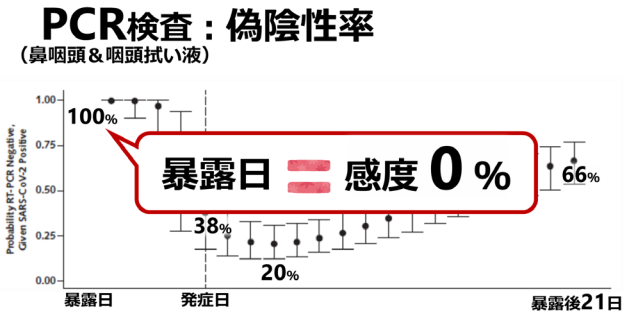
新型コロナを疑うような風邪症状の出た方が、症状の出る2日前～症状が出てから10日間の間に
マスクをはずしての会話、カラオケ、飲食、喫煙などをマスクをしない状態、はずした/ずらした状態で会話/発声を対面や1m以内で同じ空間を共有した方が**濃厚接触者**となります。15分以上、換気が悪い環境や咳やくしゃみなどの飛沫、大声などを出した/出された場合には、より感染率が上がるとされます。

上記の**濃厚接触者**に該当する方（特に同居人）は、**新型コロナを疑うような風邪症状の出た方**との**最終濃厚接触日から14日間（潜伏期間）**は、自宅待機を要します。

濃厚接触者の方が有症状であれば、PCR検査を実施します。また、無症状の場合に実施する場合には、最終濃厚接触日から**8日前後**で実施すると検査の精度があがるとされますのでそのタイミングでPCR検査を実施することもできます。同居人のような密の経過が長い超濃厚接触場合には、数日内で実施する場合もあります。

軽症でも有症状がある方は、検査結果が陰性であったとしても、14日間の隔離/自宅待機期間は、原則、変わりません。地域の流行状態により無症状の場合には、8日間程とできる場合もあります。
➡ いずれにしろ、感染拡大のリスクはあるため、マスク着用や密な状態を避ける等はより徹底する必要はあります。





Lauren M Kucirka,et al. Variation in False-Negative Rate of Reverse Transcriptase Polymerase Chain Reaction-Based SARS-CoV-2 Tests by Time Since Exposure. Ann Intern Med. 2020 Aug 18;173(4):262-267.

感染症倶楽部シリーズ統括代表 ながたクリニック 院長 永田 理希 2021年04月18日作成

新型コロナウイルス感染者＆風邪症状患者（COVID-19疑い）

自宅療養待機＆隔離期間

大事な家族や友人を守るために
感染症拡大防止にご協力ください

呼吸困難・意識障害など
重症化傾向出現すれば、
迷わずすぐに**担当窓口**に**電話！**

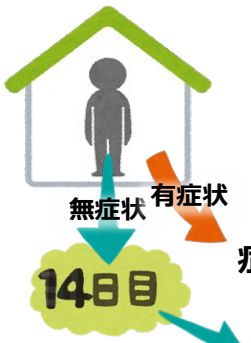
#1人暮らしの場合：

新型コロナ感染症症状＆風邪症状がある人

新型コロナウイルス感染：陽性者もしくは**濃厚接触者自宅待機**の人で上記の症状があるもしくは軽症であっても症状がでてきた人

→ **症状出現**から**10日間**＋発熱や咳などの**主症状が消失して3日間**は、**自宅療養待機・外出禁止**としなければならない。

⚠ 発熱症状は、解熱剤を使用せずに**3日間**以上熱がない、解熱剤を飲み続けていての発熱がないは症状消失にならない。



症状出現～10日目 ＋ **症状消失～3日目**

新型コロナウイルス感染：陽性者もしくは**濃厚接触者自宅待機**の人

→ 症状がなくとも**14日間**は、**自宅待機・外出禁止**とし、**隔離対応が必要。**

#同居者ありの場合：（家族など）

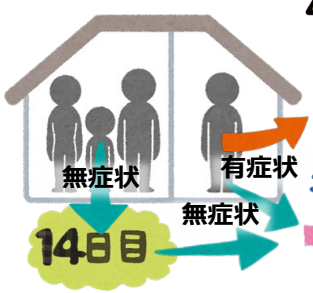
新型コロナ感染症症状＆風邪症状がある人

新型コロナウイルス感染：陽性者もしくは**濃厚接触者自宅待機**の人で上記の症状があるもしくは軽症であっても症状がでてきた人

→ 本人は、**症状出現**から**10日間** ＋発熱や咳などの主症状が消失して**3日間**は、**自宅療養待機・外出禁止**とし、**隔離対応が必要。**

→ 同居者（家族など）は、**無症状**であっても**感染拡大を防ぐため**に**14日間**は、**自宅待機・外出禁止**とし、**隔離対応が必要。**

⚠ 発熱症状は、解熱剤を使用せずに**3日間**以上熱がない、解熱剤を飲み続けていての発熱がないは症状消失にならない。



症状出現～10日目 ＋ **症状消失～3日目**

新型コロナウイルス感染：陽性者もしくは**濃厚接触者自宅待機**の人

→ **無症状**でも**14日間**は、**自宅待機・外出禁止**とし、**隔離対応が必要。**

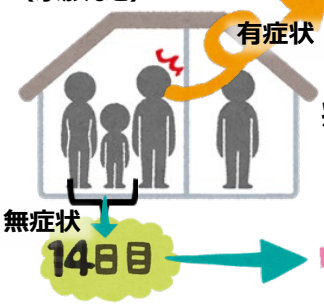
#同居者感染の場合：（家族など）

疑いを含む

同居者（家族など）が感染して、**新型コロナ様症状＆風邪症状**が**でてきた**人

その人は、

→ さらに**症状出現**から**10日間** ＋発熱や咳などの主症状が消失して**3日間**は、**自宅療養待機・外出禁止**としなければならない。



症状出現～10日目 ＋ **症状消失～3日目**

⚠ 発熱症状は、解熱剤を使用せずに**3日間**以上熱がない、解熱剤を飲み続けていての発熱がないは症状消失にならない。

→ ただし、無症状の他の家族は、当初の予定通り**14日間**で**自宅待機・外出禁止**を終了してよい。

⚠ **注 意**

同居家族の対応に関しては、患者の状態や背景などから新型コロナの可能性の評価や対応が異なりますので、診察医の判断とその指示に従ってください。（検査の実施や受診も含めて）

チェック

嗅覚障害/味覚障害は14日間までに約80%の方が治癒しますが、15～20%は2週間以上続くことがあります。**この症状だけの症状**が、11日目以降残っていても感染隔離の必要性は低いとされます。

感染症倶楽部シリーズ統括代表 ながたクリニック 院長 永田 理希 2021年01月10日作成